

いっまでも 心の中に・・・

今年7月から館内のリニューアルのため休館していた「丘灯至夫記念館」のリニューアルオープン記念式典が11月3日に行われ、約60人の来賓が出席しました。

その後、丘先生の妻の丘ノブヨさん、西山謹司さん、歌手の二代目コロムビア・ローズさん、柏屋代表取締役社長の本名幹司さん、町長、議長、教育長により記念館のテープカットが行われました。

午後からは、多目的研修集会施設の大ホールを会場に「丘灯至夫メモリアルコンサート」が開かれました。

の思い出の中から、小町温泉小唄ができたいきさつや柏屋さんとの思い出のまんじゅう開きの話などがありました。

第2部は丘先生ゆかりの歌手の方々のステージとなり、小藤流家元・小藤悠芸(こむじゆうき)さんの踊り『青海波(せいがいは)』に始まり、小林翼さんの若さあふれる『涙の敗戦投手』『襟裳岬』、当日のコンサートの司会を務めていた郡山市出身の尾形明美さんによる『ふるさと』には『東京のバスガール』、田村市常葉町の佃光堂(つくだこう)さんの『めでた音頭』『故郷はなし』、そして最後は二代目コロムビア・ローズさんによる丘先生の文芸作品『たけくらべの歌』『二十四の瞳』『福島県ゆかりの『智恵子抄』が披露されました。

2時間30分にわたるコンサートは、大ホールを埋め尽くした約700人のお客さんとコンサートに出演した皆さんによる、丘先生の代表曲『高校三年生』の大合唱で締めくくられました。

終了後、多くの方がメモリアルした「丘灯至夫記念館」に足を運び、コンサートの余韻に浸っていました。



1



2

3